

トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2009
Triphony Hall "Goldberg Variations" 2009

天衣無縫！
どこまでも熱く、どこまでも激しく

イシドロ・バリオ [ピアノ]

Isidro Barrio, Piano

J. S. バッハ / ゴルトベルク変奏曲 BWV988 (1741-2)

Johann Sebastian Bach / Goldberg Variations BWV988

ソレル / ソナタ へ長調 KIB.22
Antonio Soler / Sonata F major KIB.22

ロンド へ長調 KIB.23
Rondo F major KIB.23

ソナタ ニ長調 KIB.21
Sonata D major KIB.21

ソナタ イ長調 KIB.28
Sonata A major KIB.28

料金 [全席指定] : S¥4,000 A¥3,000 (トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)

◎前売開始: 10月26日(日)

ご予約・お問合せ: トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

2009年2月17日(火) 7時開演 (6時30分開場)
Feb 17, 2009 (Tue.) 19:00 start (18:30 open)

すみだトリフォニーホール
Sumida Triphony Hall

Triphony Hall "Goldberg Variations" 2009

トリフォニーホール 《ゴルトベルク変奏曲》 2009

Isidro Barrio, Piano

音楽は音符や記号の戯れではないし、まして構造や精神性の奴隷じゃない。演奏は全人格的な表現であるはずだ。イシドロ・バリオのバッハには人間がいる。濃密な夢想と果敢な探究に終わりはない。激しい情熱と強固な自我をもって、ヴィルトゥオーゾは劇的な緊張を生きる。そこに響くのは、まぎれもなくロマンティックな芸術家であり、生粋のソウル・マンであるに違いない。

(青澤隆明/音楽評論)

スペインは突如天才的な芸術家を世に送り出し、世界を驚嘆させ、感動の嵐を巻き起こす国である。そしてここに何物にも束縛されない、自由で開放的な精神を備えた「ゴルトベルク変奏曲」を奏でるイシドロ・バリオが登場した。冒頭のアリアのテンポから装飾音、カノンやトッカータの表現、和声から対位法の扱いまですべてが個性的。脳が覚醒し、心が活気づき、人生を謳歌したくなる。彼はピアノで生きる喜び、人生の意義を訴えている。

(伊熊よし子/音楽ジャーナリスト)

バリオの「ゴルトベルク」録音は、モダンピアノで弾く意味を、あらためて強烈に提示する。時が歩みを止めたかのようなアリアに、低声やトリルが強調され、テンポもルバートも奔放な各変奏。快速部分は鮮烈な音のシャワーを浴びせながら突っ走り、短調の3変奏は小節線もない、まるで無限旋律だ。激流と清流のとてつもない落差!そして全時間が隙なく音で満たされていく。これではまた「ゴルトベルク」のライブに行かねばならない。

(柴田克彦/音楽ライター)

恐ろしく個性的なピアニストだ。冒頭アリアのゆっくりしたテンポにまず仰天させられ、第1変奏からは逆にぐいぐいとした駆動力で疾風のように突き進む。緩急の大胆なコントラスト、奔放なアクセント、自由闊達なルバートとアーティキュレーション。まさにモダンピアノの特性を最大限に生かしたピアニスティックな表現であり、これまでのバッハ像の常識を覆す、斬新な「ゴルトベルク」の誕生である。

(真嶋雄大/音楽評論家)



「わたしにとって音楽は、もはや手段でも、目的でも、ましてや必要性でもありません。人生そのものなのです。私に起こるすべてのもの、私が見るもの、楽しむこと、私をとり巻くすべて、それらの存在自体を音楽へと換えてゆくのです。私の音楽に対する姿勢は、まったくロマンティックなものです。」

(イシドロ・バリオ)

Profile

スペイン・マドリッド出身。父が作家、兄が画家など、芸術一家に生まれる。マドリッド王立音楽院で学び、その後ピアノをアレクシス・ワイセンベルク、指揮をカルロ・ゼッキに師事した。スペインの作曲家アントニオ・ソレルの作品全集CDによって彼の名声はヨーロッパ中に広まり、続く「ゴルトベルク変奏曲」で不動のものとなった。「最も重要な録音はゴルトベルクだ」と自身が語るこのCDに対して、「驚異的な技術を持ちながら、魂で演奏する」「私たちをもっとも崇高な夢、音楽への賞賛、詩的で美しい場所へ導く」と評価されている。

Triphony Hall Goldberg Variations

これまでに行われた
トリフォニーホール
《ゴルトベルク変奏曲》
シリーズ

第1回 2006年3月9日
マルティン・シュタットフェルト
(ピアノ)



世界がその才能に注目!
新鋭シュタットフェルトが放つ
驚愕の《ゴルトベルク》

第2回 2007年3月2日
セルゲイ・シェブキン
(ピアノ)



シェブキン
×
変奏(ヴァリエーション)=∞

第3回 2007年9月26日
ミカ・ヴァユリネン
(アコーディオン)



ゴルトベルクで
アコーディオンをぶっ壊す

第4回 2007年10月20日
フランク・フォルケ
(オルガン)



スタンドグラスから洩れる光が
ゴルトベルクに舞い降りる

第5回 2007年10月21日
シモーネ・ベドロニー
(ピアノ)



鍵盤に火がつきそうな
ロマンティック・ゴルトベルク

●入場料[全席指定]:S¥4,000 A¥3,000

(トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可)

●前売開始:10月26日(日)

●ご予約・お問合せ ※団体料金の設定もございます。詳しくはお問い合わせ下さい。

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

●前売り:チケットぴあ 0570-02-9999

e+(イープラス) http://eplus.jp

東京文化会館チケットサービス 03-5815-5452

※「ゴルトベルク変奏曲」演奏開始後は途中入場ができません
※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。

■主催・企画:すみだトリフォニーホール

■後援:スペイン大使館 ■招聘制作:デュオ ジャパン



平成20年度文化庁芸術拠点形成事業



すみだトリフォニーホール
http://www.triphony.com

★JR総武線「錦糸町駅」北口★地下鉄半蔵門線「錦糸町駅」出口3—徒歩約5分